

サイト設計とページデザイン

WEBページを製作する上で重要なことは、コンテンツ (情報) をいかに表現し、ユーザーに伝えるために、ファイルとディレクトリの構成 (サイト構造) を組み立てるかです。

サイトの構造はページナビゲーションと密接に関係しているため、特に規模の大きな企業サイトなどではその企業の組織構造に密接に関係するために、各部署、関係者との調整 (打合せ) が必要です。

サイトの構造を安易に決定すると、将来的にカテゴリの再分類やディレクトリ、ファイルの移動の必要性が発生し、デッドリンクを作り出す可能性が高くなります。多くの検索エンジンやリンクに依存するインターネットの特性上、継続的なサイト運営にとって大切なことはファイル名と場所を変えないことです。

		ページの目的	デザイン
上階層 ↑ 下階層	トップページサイト	実用的な分類がされている場合が多い。次のカテゴリトップページと一体化していることも多い。 扉的なトップページは少数派である。	主にロゴやイメージなどのグラフィック。 トップページが扉的な場合は更新履歴などを入れる場合もある。 Flashや大きな画像は避ける。 アクセスカウンターも避ける。
	カテゴリトップページ	各事業内容、サービスなどを分類しボタンを用意したもの。	各カテゴリの入り口のページとなる。 ロールオーバーによるボタンナビゲーションが流行りである。 初心者製作のページにはフレームを利用しているものも多く見られるが、優良サイトの主流はノンフレームである。
	カテゴリページ	情報のメインとなるページ。	どのカテゴリに属するページが明確に分かるようにデザインする。
	詳細ページ	各情報の詳細ページなど。	カテゴリページより簡潔なデザインする。 このレベルで他のカテゴリページに容易に移動できると、ページナビゲーションが混乱する可能性がある。

サイト構造の整理が不十分だと

- 不必要、重複した内容のページが点在する。
- 一貫性のないページナビゲーションが生じ、ユーザーを混乱させる。

トップページの基本原則

- WEBサイトは本やカタログではないので無駄なトップページ (扉) を作らない。
- 多くの場合、ビジュアルのみのスプラッシュページはユーザーに嫌われる。
- サイトに訪れる人がWindowsやMACとは限らない。
- プラグインの必要なトップページは作らない。
- その時の平均的なアクセス速度によって10秒程度 (最悪20秒) で表示可能なページの制作を目指す。

ページナビゲーションの基本原則

- ロゴをクリックするとホーム (サイトトップページ) に戻るという暗黙の了解。
- いつでもトップページに戻れる。
- 他のカテゴリトップに行ける。
- メインナビゲーションボタンの位置を変えない。
- コンテンツとナビゲーションパーツを明確に分ける。
- 説明を必要としないインターフェイス。

ページを見て勉強

- <http://www.fujibank.co.jp/>
- <http://www.sanwabank.co.jp/>